

2 作業の量

(1) 1日の作業量をその日に処理する

市民による里山管理は長期間でしかも継続的に行うものであるということはいうまでもありません。それでも作業は1日単位で処理をしたいものです。

作業を残して1日が終了した場合、市民ボランティアの作業であれば、一定の理解はされるでしょう。それでも市民の中には、目の前で伐採された木が横たわっているのは感情的に許せないという見方をするひともあります。これは当然のことで、各人、各グループの考え方は違うのですから。こうした本来味方となる市民との間のトラブルをさけ、活動を支援してもらうことは重要です。少なめに作業をし、その日その日に作業を完全に終了させ、市民がいつでも森の中に入って楽しんでもらえる姿勢を示すことは必要です。



共同で下草の刈り取り



2時間の作業ででた枝条、午後にはすべて処理をする



掻いた落ち葉を集める



常緑樹を伐り倒す